

〔様式 1〕

事務事業評価表

記入年月日 平成16年4月16日

平成16年度	事業コード	13120	電話	042-769-9227
担当部課名	保健福祉部	子育て支援	課	児童育成 班
事務事業名	相武台地区こどもセンター建設事業			
予算上の事務事業名	こどもセンター建設事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	子育て環境づくりの推進	13年度
施策名	第2施策	子育て支援の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

児童福祉法、相模原市立こどもセンター条例、相模原市児童クラブ条例

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

投資的経費

5 事務事業の分類

国庫補助事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)	
児童館と児童クラブ、並びに地域における児童健全育成機能を持つこどもセンターを、相武台公民館区に1館整備することにより、地域における子育て支援やこども施策展開の拠点とする。	児童福祉法第4条に規定される児童及びその保護者、青少年関係団体、地域住民	
	対象数	単位
(3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	相武台公民館区にこどもセンターを整備する。 所在地 相模原市新磯野4丁目1番2号 構造・規模等 鉄筋コンクリート造平屋建 延べ床面積 588.16㎡ 開館日 平成16年4月1日	
(4)個別計画の概要	概要	
計画名	児童厚生施設整備計画	こどもセンターを公民館区に1館整備する。
計画年次	13年度～	年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

成果指標	指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
	建設事業の進捗率	建設事業の実際の進捗率/建設事業の目標とする進捗率×100	目標に対する達成率の確認	13	14	15	16	17
				100	100	100		
活動指標								

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
		決算	決算	決算(見込み)	予算	予算(見込み)
			5,670	191,675		
	人員・時間数		1人(90時間)	2人(170時間)		
	人件費		369	697		
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	0	6,039	192,372	0	0
	特定財源		0	156,200		
	対象数(--)			0		
	単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価(担当課による一次評価)

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	公民館区に1館整備を目標としたこどもセンター整備計画は、相武台で19館となる。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 地域の子育て支援及びこども施策展開の拠点として整備しているもので、施設機能の確保と整備費用の観点から必要性に適応していると考えられる。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	親子ふれあいサロンや三世代交流事業の実施など、地域での子育て支援活動や児童青少年育成活動の拠点としての機能を有効に果たしていると考えられる。
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない これまでのこどもセンター整備の経験をいかして、機能と経済性を重視した設計・建築を行なっている。また、周囲の環境との調和を重視し、施設の維持管理についても低コスト達成をめざして設置している。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	こどもセンターは児童館と児童クラブの機能を有しており、児童の遊び場、放課後児童健全事業の場として利用されている。また、子育て中の母親など、地域の人たちに気軽に利用されており、地域の施設として公平性は適正であると考えられる。
(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策		(7)今後の課題となっていること	
施工後のランニングコストを削減させるための努力や、建設委員会を早期に設置して、地元の要望等を十分に反映させた事業展開を図った。		<ul style="list-style-type: none"> ・中高生の利用促進 ・子育て支援の地域の拠点として情報収集と発信の新たなしくみを構築する。 ・駐車場の確保。 	

11 総合評価(担当課による一次評価)

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		本市では「児童厚生施設整備計画」に基づき児童厚生施設の整備を進めているが、県内で児童館の整備を計画的に進めているのは本市と藤沢市のみである。
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	相模原市の小学校数 55 (平成16年4月1日現在) 児童館が設置されている小学校区 44
<input checked="" type="checkbox"/>	完了・廃止	・こどもセンター 19 ・児童館 25
<input type="checkbox"/>	完了(廃止)済	

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

--